

船舶事故調査報告書

平成21年12月3日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）
委員 山本 哲 也
委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成20年12月19日02時50分～03時00分ごろの間に甲板員が落水したものと考えられる。）
発生場所	不明（石川県珠洲市の ^{すず} 禄剛 ^{ろっこうさき} 埼灯台から真方位約029° 約17.5海里（概位 北緯37°47.1′ 東経137°30.6′）で甲板員の遺体が発見された。）
事故調査の経過	平成20年12月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{かずえい} 一恵丸、7.9トン IK2-5663（漁船登録番号）、個人所有 14.20m(Lr)×3.60m×1.21m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数90、昭和48年9月11日
乗組員等に関する情報	船長 男性 40歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成9年9月8日 免許証交付日 平成19年4月16日 (平成24年9月7日まで有効) 甲板員 男性 36歳 操縦免許証なし
死傷者等	死亡 1人（甲板員）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成20年12月19日00時00分ごろ、船長ほか甲板員1人が乗り組み、かに底びき網漁の目的で、石川県蛸島港を僚船16隻とともに出航した。船長は、単独で操船に当たっていたところ、出航後、操舵室内で休息していた甲板員が、02時45分ごろ操舵室を出て、02時50分ごろ操舵室右舷後方に立っているのを見たが、03時00分ごろ漁場に到着して操業を開始するため声を掛けようとしたところ、船上からいなくなっていた。船長から連絡を受けた僚船が海上保安庁に通報し、捜索が行われた結果、09時35分ごろ、捜索に加わった底びき網漁船によって甲板員の遺体が発見され、のち溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 5、視程 約9km 海象：波高 約2.4m
その他の事項	甲板員に体調不良の様子は見られず、いつも通りの行動をとっていた。 波による船体動揺は若干あったが、海上は荒れてはいなかった。

	船長及び甲板員は、ふだんから救命胴衣を着用していなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は溺死であった。 甲板員は、救命胴衣を着用せずに落水したため、溺死した可能性があると考えられる。 甲板員が落水した状況については、明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が禄剛埼沖の漁場に向け航行中、甲板員が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	